

## 保管用データ作成にかかる追加特記仕様書 (橋梁新設・修繕工事ファイリング用)

本追加特記仕様書は、業務の委託を受けた者（以下「乙」という。）が成果品として定められている電子納品用成果とは別に、発注者（以下「甲」という。）データ保管のための電子データ（以下「保管用データ」という。）の作成について定めるものである。

### 1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、甲乙協議の上これを定めるものとする。

### 2 提出部数及び収蔵電子媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収蔵電子媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、甲との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収蔵電子媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を甲に報告しなければならない。

### 3 橋梁新設・修繕工事にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- (1) 橋梁新設・修繕工事に関する保管用データは、別途「橋梁新設・修繕工事にかかる保管用データ格納フォルダー構成」に示す構成により取りまとめ、格納しなければならない。
- (2) 報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧表」を作成し、格納しなければならない。
- (3) 各橋梁毎に、竣工図面及び工事写真を仕分けして格納しなければならない。このとき、ファイルの形式（JPEG、PDF、P21など）については、特に指定はなく、関連するデータを格納する。
- (4) その他記載のないものについては、甲と協議のうえ指示を得なければならない。
- (5) 成果品については、甲より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行

い、エラーの無いように修正しなければならない。

(6) チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を甲に書面にて報告し、協議のうえ指示を得なければならない。

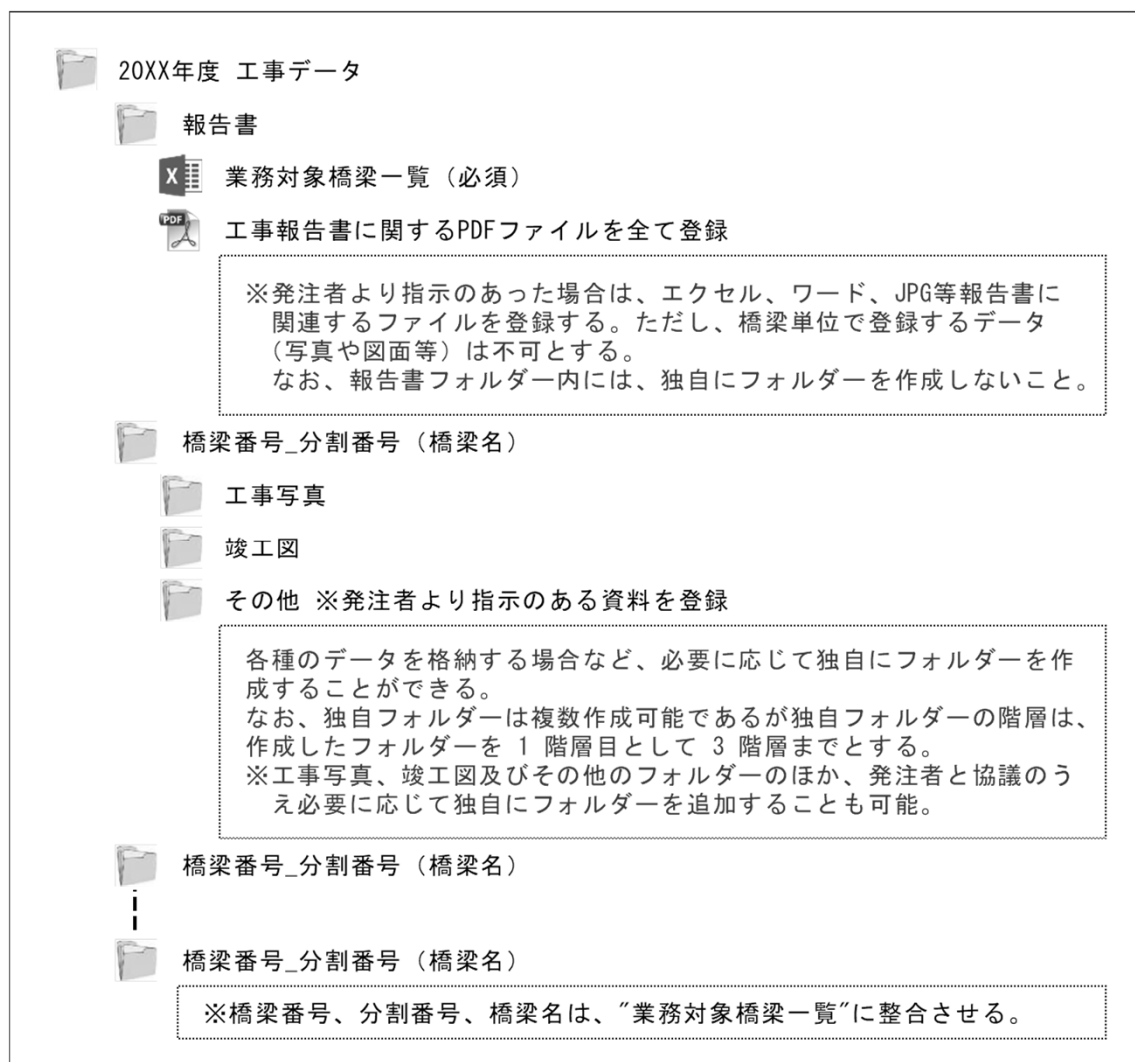
(7) 本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、甲より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう乙の責により補修しなければならない。

#### 【参考資料】

1. 橋梁新設・修繕設計にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
2. 業務対象橋梁一覧について

## 【参考資料】

## 1. 「橋梁新設・修繕工事にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について



## ※20XX年度 工事データフォルダの命名規則について

フォルダ名は、「20XX年度 工事」という文字を含めて命名を行う。

「20XX年度」を先頭として、「工事」という文字をどこかに含める。

なお、“ ” は空白（スペース）を意味し、半角か全角かは問わない。

## 2. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。